

# 阿刀田令造文書目録

. 日記・ノート類(原本)

| 資料番号 | マイクロ番号      | 資料名             | 年代                          | 作成・差出 | 内容注記  | 備考                          |
|------|-------------|-----------------|-----------------------------|-------|---|-----------------------------|
| -1   | 0006 ~ 0013 | 「三十三年を送る」       | 明治33年(1900)12月31日           | 阿刀田令造 | 明治33年を振り返って一年間を総括する。  | 半丁10行縦割原稿用紙を使用。表紙なし、紙縫綴じ装丁。 |
| -2   | 0018 ~ 0067 | [日誌 明治三十四年]     | 明治34年(1901)5月4日 ~ 6月12日     | 阿刀田令造 | 表紙に「日誌 明治三拾四年五月四日」とあり。自序にて日記を書く目的を述べる。明治34年6月1日まで野紙内に記入したあと、6月2日からは欄外の余白に記入。  | 半丁13行縦割原稿用紙を使用。四つ目綴じ装丁。     |
| -3   | 0073 ~ 0336 | [日誌 明治三十六年]     | 明治36年(1903)1月1日 ~ 12月21日    | 阿刀田令造 | 東京帝国大学1~2年生の日記。市販日記帳「吾家の歴史」を使用。   |                             |
| -4   | 0562 ~ 0653 | [東京帝国大学講義受講ノート] |                             | 阿刀田令造 | 東京帝国大学時代の講義ノートか。国史、西洋史、東洋史など。初頁に授業割を記す。名取会に充てる「講習会設立の檄」草案あり。  |                             |
| -5-1 | 0658 ~ 0716 | [東京帝国大学講義受講ノート] |                             | 阿刀田令造 | 東京帝国大学時代の講義ノートか。国史、西洋史、東洋史、教育原論、仏教思想など。   |                             |
| -5-2 | 0721 ~ 0783 | [東京帝国大学講義受講ノート] |                             | 阿刀田令造 | 東京帝国大学時代の講義ノートか。表紙なし。西洋史(ギリシャ、ローマ)・日本古代史に関する記述あり。当初 -5-2に挟まれていた。  |                             |
| -6   | 0341 ~ 0366 | [京都淑女高等女学校授業日誌] | 年末詳9月13日 ~ 11月2日            | 阿刀田令造 | 京都淑女高等女学校の原稿用紙を使用。第四年級(9/13 ~ 10/30)授業日誌、パリ旅行記、第三年級(9/14 ~ 11/2)授業日誌という構成。3年と4年の授業日誌は並行して作成され、旅行記は授業日誌よりも後に書き足されたか。 | 四つ目綴じ装丁。                    |
| -7   | 0371 ~ 0471 | [日記 昭和21年]      | 昭和21年(1946)4月25日 ~ 22年1月13日 | 阿刀田令造 | 市販日記帳「自由日記」を使用。市長推薦辞退の件、郷土研究会の件、公民館設置の件など。  |                             |
| -8   | 0476 ~ 0514 | [日記 昭和22年]      | 昭和22年(1947)1月14日 ~ 5月18日    | 阿刀田令造 | 市販日記帳「自由日記」を使用。公民館関係、市史編纂会関係など。   |                             |
| -9   | 0788 ~ 0887 | [手帳 昭和21年]      | 昭和21年(1946)か                | 阿刀田令造 | 挨拶・講演等の草案や研究調査のメモなど。  | 昭和21年用の手帳を使用。               |
| -10  | 0962 ~ 1042 | [手帳 昭和21年]      | 昭和21年(1946)か                | 阿刀田令造 | 肖像画(金山平三作)の写真が挟み込まれている。内容は講演会や講義用のメモなど。   |                             |

|        |             |                                   |                     |       |                                      |  |
|--------|-------------|-----------------------------------|---------------------|-------|--------------------------------------|--|
| -11    | 0892 ~ 0956 | [手帳 昭和22年]                        | 昭和22年(1947)頃        | 阿刀田令造 | 市史編纂会に関するメモや、挨拶の草案、研究・調査のメモなど。       |  |
| -12-1  | 0534 ~ 0535 | [日記 昭和20年(抜粋コピー)]                 | 昭和20年(1945)7月9日~10日 | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-2  | 0528 ~ 0533 | [日記 昭和21年(抜粋コピー)]                 | 昭和20年(1945)10月5日~6日 |       |                                      |  |
| -12-3  | 0523 ~ 0525 | [愛知県起町土俗趣味社士の香第二巻第三号のための執筆文(コピー)] | 昭和21年3月19日          | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-4  | 0525 ~ 0527 | [飢餓どんぞこ記(コピー)]                    | 昭和21年6月15日          | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-5  | 0520 ~ 0522 | 生活講座第一講青年の感覚(コピー)                 | 昭和21年12月28日         | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-6  | 0522        | 感想一束(コピー)                         | 昭和21年12月29日         | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-7  | 0536        | 女子公民講座(コピー)                       | 昭和22年3月2日           | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-8  | 0537 ~ 0539 | 青年に告ぐ(コピー)                        | 昭和22年1月19日          | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-9  | 0539 ~ 0540 | 長門頼三君の忠告(コピー)                     | 昭和22年1月21日          | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-10 | 0541 ~ 0542 | 協議会委員会(コピー)                       | 昭和22年3月12日          | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-11 | 0542 ~ 0543 | 感想(コピー)                           | 昭和22年3月13日          | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-12 | 0543 ~ 0544 | 感想(コピー)                           | 昭和22年3月14日          | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-13 | 0544 ~ 0548 | (逓信講習所研修科)月愛三昧(二)(コピー)            | 昭和22年3月17日          | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-14 | 0548 ~ 0549 | 五橋児童への告辞(コピー)                     | 昭和22年3月20日          | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |
| -12-15 | 0550 ~ 0555 | 日本再建の基礎としての仏教(コピー)                | 昭和22年5月10日          | 阿刀田令造 | 阿刀田研二が所蔵していた阿刀田令造の日記(昭和20年頃)からの抜粋コピー |  |

|         |  |                     |                 |           |   |  |
|---------|--|---------------------|-----------------|-----------|---|--|
| -13     |  | ますらをぶり              | 昭和19年           | 阿刀田令造     | 手書き原稿集。製本テープによる仮製本。原稿用紙は哲学用箋(20×20)を使用。出版のために揃えたものの実際には出版されなかった原稿。  |  |
| . 印刷出版物 |  |                     |                 |           |   |  |
| -1      |  | ふるさと 第四巻・第二号        | 昭和9年(1934)2月10日 | ふるさと社     | 雑誌コピー。阿刀田令造は「論語を読め」という一文を寄稿。  |  |
| -2      |  | 仙台郷土研究 臨時増刊         | 昭和11年(1936)9月5日 | 仙台郷土研究会   | 甲冑童再建特輯号。明治8年火災のため焼失した宮城県刈田郡齋川高福寺境内甲冑堂の再建記念特集。阿刀田令造は「甲冑堂礼讃」という一文を寄稿(初出は昭和11年6月11日河北新報)。表紙に「講演用」と墨書あり。   |  |
| -3      |  | 『唱和集』               | 昭和15年3月         | 阿刀田令造     | 宋阿上人の詩歌集か。「文政己卯秋月橋園奥田誠美」という年紀が見える。昭和15年3月26日阿刀田令造の造識文に依ると、唱和集は宋阿上人と長尾秋水の唱和で宋阿上人の自筆であり、「我が家宝」であるという。阿刀田が編纂した『唱和集』は、阿刀田所蔵の唱和集を含む宋阿上人の書を編纂して刊行したものか。 |  |
| -4      |  | 『救荒野譜』              | 昭和15年4月25日      | 阿刀田令造     | 明の王西楼(輯)・姚可成(補)が著し、日本では長松堂より正徳乙未年に出版された版本(伊藤長胤序)を、阿刀田令造が非売品として編集発行(昭和15年4月25日発行)した。   |  |
| -4      |  | 高橋剛君追悼号             | 昭和21年(1946)8月   | 二高科学部科学寮か | 昭和20年8月20日病気のため逝去した二高卒業生高橋剛(卒業は昭和19年、同年東北帝国大学工学部進学)の追悼録。阿刀田令造は「高橋剛青年」という一文を寄稿。編集後記によれば、「町田陽平君追悼号」と同時に計画したが刊行が遅れて一周忌に及んだというから、『白木蓮』臨時号か。           |  |
| -5      |  | 町田陽平君追悼号(「白木蓮」臨時増刊) | (昭和21年か)        | 二高科学部科学寮か | 昭和20年7月14日空襲のやけど悪化のため逝去した二高生町田陽平の追悼録。阿刀田令造は「町田陽平君に泣く」という一文を寄稿。発行主体は科学部か。  |  |
| . 写真    |  |                     |                 |           |   |  |

|        |  |                |                      |       |  |  |
|--------|--|----------------|----------------------|-------|--|--|
| -1     |  | 宮城県尋常中学校第四回卒業生 | 明治31年(1898)4月2日      |       | 台紙付。裏に「宮城県尋常中学校第四回卒業生 明治三拾一年四月二日」とあり。落書多し。尋常中学校卒業時の集合写真。阿刀田令造は最後列右より3人目。白崎写真館撮影。       |  |
| -2     |  | 名取恭一郎送別記念      | 明治35年(1902)3月        |       | 台紙付。裏に「名取会々員大友恭一郎氏之送転于水戸。於五城館。明治三十五年三月写」とあり。五城館は仙台教育義会によって明治21年に建設された。                 |  |
| -3     |  | 求道学舎記念日        | 明治38年(1905)6月1日      |       | 台紙付。裏に「千九百〇五年第六月一日求道学舎記念日」とあり。東京大学学生時代の集合写真。子供を抱いた女性の姿も見える。寮か。宮内幸太郎撮影。                 |  |
| -4     |  | 文科大学史学科卒業生記念   | 明治38年(1905)7月        |       | 台紙付。裏に「千九百〇五年第七月文科大学史学科卒業生記念」とあり。東京大学卒業時の集合写真か。望月東涯撮影。                                 |  |
| -5     |  | 沢柳総長歓迎記念       | 明治44年(1911)4月30日     |       | 台紙付。沢柳政太郎東北大学総長、三好愛吉二高校長を中心にした集合写真。学生等とともに、最後列には阿刀田令造、玉虫一郎一、小倉博、杉谷泰山等が並ぶ。道交寮か。白崎写真館撮影。 |  |
| . 参考資料 |  |                |                      |       |  |  |
| -1     |  | 故人のおもかげ        | 昭和22年(1947)8月28日はしがき | 阿刀田璋子 | 昭和22年5月1日に逝去した阿刀田令造に寄せられた弔辞を、璋子夫人が百ヶ日法要に際し編纂して関係者に配布したもののコピー。                          |  |
| -2     |  | [阿刀田令造関連記事等]   |                      |       | 阿刀田令造に関する論文や新聞記事のコピー。新聞記事以外の論文・短文としては、伊東信雄「阿刀田令造先生の郷土史研究」、彦坂京「母の想い出」がある。               |  |